



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ユニカフェ
 コード番号 2597 URL <http://www.unicafe.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 岩田 斉
 (氏名) 長縄 明彦

TEL 03-5400-5444

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	5,393	10.5	219	△14.9	229	△13.8	225	△27.2
27年3月期第2四半期	4,879	△23.3	258	△46.3	266	△50.2	310	△23.0

(注)包括利益 28年3月期第2四半期 186百万円 (△25.8%) 27年3月期第2四半期 251百万円 (△49.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	16.31	—
27年3月期第2四半期	22.40	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	10,332	7,451	72.1
27年3月期	10,103	7,375	73.0

(参考)自己資本 28年3月期第2四半期 7,451百万円 27年3月期 7,375百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年 3月期の連結業績予想(平成27年 4月 1日～平成28年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,072	8.7	650	△0.7	669	△0.4	524	51.2	37.87

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	13,869,200 株	27年3月期	13,869,200 株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	28,110 株	27年3月期	27,720 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	13,841,218 株	27年3月期2Q	13,842,000 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期報告書の開示時点において金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断した一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成27年4月1日から平成27年9月30日までの6ヶ月間）における当社グループを取り巻く環境は、消費増税後の低迷が一巡し、政府の経済対策を背景に輸出型企業を中心に企業収益の改善や、株式相場の上昇などの緩やかな景気回復の動きが見られました。一方で、中国経済の減速など海外景気に対する不安感や、円安進行による原材料価格の上昇など、国内景気の下振れが懸念されております。

このような状況の中、レギュラーコーヒー業界につきましては、コンビニエンスストアのカウンターコーヒーにより新たなレギュラーコーヒーブームに火が付き、我が国のレギュラーコーヒーの需要が直近2年連続で史上最高を更新するなどそのおいしさが消費者のあらゆる生活シーンに浸透しつつあります。それに加えサードウェーブや一杯抽出コーヒーシステム等が登場し、豆の産地、焙煎、ブレンド、抽出にまでこだわる本格志向の消費者から簡便性を重視する消費者までニーズは多様化しており、更にあらゆる業種、業態でコーヒーが集客力を高める戦略商品であると注目され、その提供場所が広がっております。

当社の業績に多大な影響を及ぼすコーヒー生豆相場につきましては、前年と比べ、低い水準で推移しており、今後低位安定に推移すると思われまます。

このような経営環境の下、当社グループは、「コーヒーをコアに人と環境にやさしい企業を目指す」の企業理念の下、「T=Transformation=変革」「I=Innovation=革新」「C=Challenge=挑戦」の「TIC」を新たなキーワードとして収益構造の改善と内部統制の強化に注力するとともに、「飲むことを楽しむ」というコーヒーの新たな価値「Fun to Drink」をテーマとし「その上のコーヒー」を常に追い続け、チャレンジを続けております。

セグメントの状況は、次のとおりであります。

① 「コーヒー関連事業」

「コーヒー関連事業」につきましては、国内において主力の工業用コーヒーの取扱数量の増加によるシェアの拡大に注力しました。業務用コーヒー・家庭用コーヒーの分野におきましては、OEM製品、NB・PB製品の販売に注力し、新しいコーヒーの価値「Fun to Drink」を提供するバリュープロバイダーとなるべく、新規取引先の開拓と既存取引先に対する新製品提案を推進しました。

工業用コーヒーにつきましては、一部の主要取引先における取扱数量が低調に推移した結果、その他の主要取引先における取扱数量で補うことができず、当第2四半期連結累計期間の取扱数量は、前年を下回りました。

業務用コーヒーにつきましては、主要取引先のカフェチェーンなどにおける取扱数量が好調に推移しました。その結果、当第2四半期連結累計期間におきましては、前年を上回りました。

家庭用コーヒーにつきましては、第1四半期会計期間に引き続き、NB・PB製品販売を中心に主要取引先における取扱数量が好調に推移しました。その結果、当第2四半期連結累計期間の取扱数量は、前年を大きく上回りました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は52億42百万円（前年同期比10.5%増）となりました。

利益面では、生産工程の効率化と販売費及び一般管理費の抑制に努めましたが、取扱数量の減少に伴い固定費の負担割合が増加した結果、営業利益は2億1百万円（前年同期比14.1%減）となりました。

② 「パルプモールド事業」

「パルプモールド事業」につきましては、連結子会社の上海緑一企業有限公司を通しての事業であり、当第2四半期連結累計期間の売上高は、1億50百万円（前年同期比11.8%増）となりました。利益面では、原料コスト及び人件費が増加した結果、営業利益は18百万円（前年同期比23.5%減）となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は53億93百万円（前年同期比10.5%増）、営業利益は2億19百万円（前年同期比14.9%減）、経常利益は2億29百万円（前年同期比13.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億25百万円（前年同期比27.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の部

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比2億28百万円増加し、103億32百万円となりました。増減の内訳は、流動資産が4億86百万円増加いたしました。その主な要因は、現預金及び現金が2億71百万円、受取手形及び売掛金が1億96百万円増加したことによります。また、固定資産が2億58百万円減少いたしました。その主な要因は、有形固定資産が92百万円、投資有価証券が72百万円、破産更生債権等が31億90百万円、貸倒引当金が30億98百万円減少したことによります。

② 負債の部

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末比1億53百万円増加し、28億81百万円となりました。増減の内訳は、流動負債が1億76百万円増加いたしました。その主な要因は、未払法人税等が79百万円減少しましたが、支払手形及び買掛金が3億5百万円増加したことによります。また、固定負債が23百万円減少いたしました。その主な要因は、繰延税金負債が23百万円減少したことによります。

③ 純資産の部

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末比75百万円増加し、74億51百万円となりました。この結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は72.1%となり、前連結会計年度末比0.9ポイント低下しております。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ2億71百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末には27億55百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、4億19百万円(前年同四半期は33百万円の使用)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が2億29百万円、売上債権の増加1億95百万円、たな卸資産の増加15百万円、仕入債務の増加3億5百万円及び、減価償却費1億41百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は39百万円(前年同四半期は1億99百万円の使用)となりました。これは主に、投資計画に基づいた39百万円の有形固定資産の取得によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は1億11百万円(前年同四半期は1億13百万円の使用)となりました。これは主に、配当金の支払額1億10百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成27年5月8日公表の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,484,163	1,755,638
受取手形及び売掛金	1,891,389	2,087,430
商品及び製品	171,870	150,576
仕掛品	19,234	37,204
原材料及び貯蔵品	255,718	275,357
繰延税金資産	142,323	142,323
短期貸付金	1,000,000	1,000,000
その他	57,077	60,212
貸倒引当金	△264	△298
流動資産合計	5,021,513	5,508,443
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,171,092	4,178,693
減価償却累計額	△1,737,977	△1,795,881
減損損失累計額	△228,885	△233,619
建物及び構築物(純額)	2,204,229	2,149,192
機械装置及び運搬具	3,737,338	3,782,163
減価償却累計額	△2,897,710	△2,974,180
減損損失累計額	△219,617	△224,159
機械装置及び運搬具(純額)	620,010	583,823
土地	1,639,318	1,639,318
その他	249,068	230,255
減価償却累計額	△207,639	△189,991
減損損失累計額	△1,966	△2,007
その他(純額)	39,461	38,255
有形固定資産合計	4,503,019	4,410,590
無形固定資産		
ソフトウェア	14,822	12,325
その他	116,778	117,904
無形固定資産合計	131,601	130,229
投資その他の資産		
投資有価証券	326,211	253,743
破産更生債権等	3,981,639	790,690
その他	44,584	44,584
貸倒引当金	△3,904,855	△805,907
投資その他の資産合計	447,579	283,110
固定資産合計	5,082,201	4,823,930
資産合計	10,103,714	10,332,374

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,740,408	2,045,930
短期借入金	460,000	460,000
未払法人税等	90,431	10,673
賞与引当金	47,166	46,182
その他	310,456	262,427
流動負債合計	2,648,462	2,825,214
固定負債		
繰延税金負債	62,770	39,240
その他	16,716	16,716
固定負債合計	79,486	55,957
負債合計	2,727,948	2,881,171
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,216,500	4,216,500
資本剰余金	1,020,799	1,020,799
利益剰余金	1,945,348	2,060,349
自己株式	△39,953	△40,305
株主資本合計	7,142,694	7,257,342
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	131,564	82,248
為替換算調整勘定	101,506	111,611
その他の包括利益累計額合計	233,071	193,859
純資産合計	7,375,765	7,451,202
負債純資産合計	10,103,714	10,332,374

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	4,879,345	5,393,196
売上原価	3,868,366	4,408,929
売上総利益	1,010,978	984,267
販売費及び一般管理費	752,949	764,799
営業利益	258,029	219,468
営業外収益		
受取利息	876	1,695
受取配当金	808	489
受取家賃	4,216	4,303
その他	5,235	5,425
営業外収益合計	11,137	11,913
営業外費用		
支払利息	1,499	1,452
為替差損	1,245	—
その他	114	255
営業外費用合計	2,858	1,708
経常利益	266,308	229,673
特別利益		
投資有価証券売却益	72,604	—
特別利益合計	72,604	—
特別損失		
固定資産除却損	727	—
特別損失合計	727	—
税金等調整前四半期純利益	338,184	229,673
法人税、住民税及び事業税	28,125	3,940
法人税等合計	28,125	3,940
四半期純利益	310,059	225,732
親会社株主に帰属する四半期純利益	310,059	225,732

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純利益	310,059	225,732
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△34,876	△49,316
為替換算調整勘定	△23,919	10,105
その他の包括利益合計	△58,795	△39,211
四半期包括利益	251,263	186,521
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	251,263	186,521
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	338,184	229,673
減価償却費	137,412	141,561
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△9	34
賞与引当金の増減額(△は減少)	△12,048	△983
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,800	—
受取利息及び受取配当金	△1,684	△2,184
支払利息	1,499	1,452
固定資産除却損	727	—
投資有価証券売却損益(△は益)	△72,604	—
売上債権の増減額(△は増加)	66,157	△195,282
たな卸資産の増減額(△は増加)	△74,830	△15,666
仕入債務の増減額(△は減少)	△162,223	305,504
破産更生債権等の増減額(△は増加)	—	92,000
その他	△87,810	△56,364
小計	128,970	499,744
利息及び配当金の受取額	1,649	2,144
利息の支払額	△1,507	△1,452
法人税等の支払額	△162,753	△81,316
営業活動によるキャッシュ・フロー	△33,640	419,119
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△350,151	△39,137
無形固定資産の取得による支出	△1,260	—
投資有価証券の取得による支出	△351	△371
投資有価証券の売却による収入	152,644	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△199,118	△39,509
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△307	△352
配当金の支払額	△110,308	△110,824
その他	△3,349	△460
財務活動によるキャッシュ・フロー	△113,965	△111,638
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7,847	3,502
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△354,572	271,474
現金及び現金同等物の期首残高	2,111,983	2,484,163
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,757,410	2,755,638

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。